

- 問1 応仁の乱ののち、各地に登場した戦国大名が、自らの領内の武士や農民の行動を厳しく取り締まり、領地の安定と統治を強めるために独自に制定した法律を何といいますか。 (2016年 群馬県公立入試 類似)
1. 武家諸法度                      2. 御成敗式目                      3. 公事方御定書                      4. 分国法
- 問2 戦国大名が、室町幕府の法律があるにもかかわらず、独自に分国法を制定する必要があった背景として最も適切な理由はどれか。 (2021年 京都府公立入試 類似)
1. 室町幕府の支配力が弱まり、大名が自力で領内の武士を統制し、領民を保護して団結させる必要があったため。
2. 貨幣経済が浸透し、外国との貿易による利益を独占するために全国共通の商業ルールが必要になったため。
3. 元寇による社会の混乱を鎮め、分割相続によって困窮した御家人の生活を救済する必要があったため。
4. キリスト教の布教を制限し、仏教を基盤とした道徳的な領国経営を行う必要があったため。
- 問3 戦国時代の社会において、大名の本拠地として栄えた都市の事例として、越前（福井県）の朝倉氏が築き、家臣の屋敷や商人の住まいが計画的に配置されていたことで知られる場所はどこですか。 (2016年 千葉県公立入試 類似)
1. 堺                      2. 博多                      3. 石山                      4. 一乗谷
- 問4 戦国大名の本拠地として発達した「城下町」の形成と役割について述べた文として、最も適切なものはどれですか。 (2017年 大分県公立入試 類似)
1. 農民が武器を持って城下町に集まることを推奨し、有事の際の防衛力を高めた。
2. 戦乱による被害を避けるため、城の周囲には武士のみを住ませ、商人には立ち入りを禁じた。
3. 大名が家臣や商工業者を城の周辺に集めて住ませ、政治・軍事・経済の拠点とした。
4. 海外との貿易を独占するため、すべての城下町は海岸沿いの港町に隣接して造られた。
- 問5 1549年に鹿児島へ上陸し、日本に初めてキリスト教を伝えたイエズス会の宣教師は誰か。 (2017年 北海道公立入試 類似)
1. フランシスコ＝ザビエル                      2. ルイス＝フロイス                      3. ヴァリニャーノ                      4. マテオ＝リッチ
- 問6 戦国時代、各地の有力な戦国大名が自らの領国内の秩序を維持し、家臣や領民を統制するために独自に制定した法律を何といいますか。 (2024年 奈良県公立入試 類似)
1. 永仁の徳政令                      2. 公事方御定書                      3. 墾田永年私財法                      4. 分国法
- 問7 戦国時代、鉄砲の伝来などにより戦術が変化し、大規模な軍事力とそれを支える安定した領地経営が不可欠となりました。こうした中、戦国大名が領国内の紛争を禁じたり、年貢の徴収を確実にしたりする目的で定めた「分国法」の性質として、最も適切な説明はどれですか。 (2022年 和歌山県公立入試 類似)
1. 戦国大名が、室町幕府の法によらずに自らの領土を統治するために独自に定めた法律である。
2. 幕府の許可を得た大名だけが、他国との貿易を制限するために定めた規則である。
3. 朝廷が全国の家臣や武士に対して一律に適用した法律である。
4. 鎌倉時代の慣習法を整理し、武士の裁判を公平に行うために幕府が定めた法律である。
- 問8 室町時代後期から戦国時代にかけて、幕府の権威が衰える中で、各地の戦国大名が自分の領国内を統治し、家臣団を統制するために独自に制定した法律の総称を何といいますか。 (2023年 山口県公立入試 類似)
1. 御成敗式目                      2. 分国法                      3. 公事方御定書                      4. 武家諸法度
- 問9 室町時代後期から戦国時代にかけて、各地の実力者が幕府の法に頼らず、自らの領国内を統治するために独自に制定した法律を何といいますか。 (2024年 岡山県公立入試 類似)
1. 御成敗式目                      2. 公事方御定書                      3. 武家諸法度                      4. 分国法
- 問10 戦国大名の武田氏にゆかりのある、現在の山梨県に位置する武田神社付近には、かつて大名の館を中心とした町が形成されていました。このように大名が家臣や商工業者を集めて町を作った主な目的として、最も適切な説明はどれですか。 (2016年 千葉県公立入試 類似)
1. 海外との貿易を独占するために、海岸線に面した土地に防衛拠点を築くため
2. 交通の要所に休憩所を設けることで、旅人の利便性を高め、通行税を徴収するため
3. 有力な寺社への参拝客を増やすことで、宗教的な権威を利用して領民を支配するため
4. 家臣を一定の場所に集めて統制し、商工業を振興して領国の経済と軍事を支えるため
- 問11 戦国時代において、武田氏や今川氏などの戦国大名が、自らの領国内を統治し、家臣や民衆を直接支配するために独自に制定した法律を何といいますか。 (2021年 京都府公立入試 類似)
1. 武家諸法度                      2. 公家諸法度                      3. 分国法                      4. 御成敗式目
- 問12 島根県に位置し、戦国時代から江戸時代にかけて大量の良質な銀を生産したことで知られ、2007年にはその歴史的価値が認められて世界文化遺産に登録された鉱山を選んでください。 (2019年 和歌山県公立入試 類似)
1. 足尾銅山                      2. 佐渡金山                      3. 生野銀山                      4. 石見銀山
- 問13 戦国時代、石見銀山などの鉱山開発が各地で盛んに行われた背景として、戦国大名が銀を求めた主な目的について説明したもののとして、最も適切なものはどれですか。 (2023年 岐阜県公立入試 類似)
1. 朝廷から高い官位を得るための献上物として独占するため
2. キリスト教の布教活動を支えるための寄付金として活用するため
3. 鉄砲や火薬などの軍需品を調達する資金や、家臣への恩賞とするため
4. 農村での貨幣経済を禁止し、年貢をすべて銀で納めさせるため
- 問14 戦国時代に各地を支配した戦国大名の多くは、「下剋上」という風潮の中で台頭しました。この時代における「下剋上」の説明として、当時の社会状況をふまえた最も適切なものはどれですか。 (2016年 静岡県公立入試 類似)
1. 農民たちが宗教的な団結を強めることで、武士の支配を武力で排除して自治を行った。
2. 朝廷の権威を背景とした下級武士が、実力行使によって幕府の政治を批判し、地位を向上させた。
3. 下の者が実力で上の者に打ち勝って地位を奪い、新たな領主として領国支配を広げていった。
4. 幕府から任命された守護が、自らの実力を高めて隣国を吸収し、支配権を世襲していった。